

診療に従事する女性医師対象の実態調査の結果ご報告

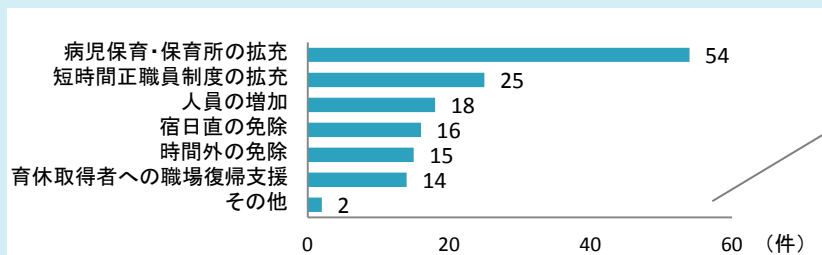
◆調査期間 平成30年7月10日(火)～20日(金) ◆回収率 48%(73/151)
◆調査対象者 診療に従事する女性医師 ◆調査方法 メール・ペーパーにて

今回のアンケートでは、診療に従事する女性医師(全151名)を対象に実施した結果、幅広い年代・職位の医師73名から回答を得ました。ご協力、ありがとうございました。

今回の調査で、女性医師支援に関して、最も大事な制度や仕組みについてお聞きしたところ、「病児保育・保育所の拡充」が50%を超えており、早急に整備する必要があると感じました。ただ、主に運用上の課題が多く、また、既に柔軟に対応しているところもありますがその情報を皆様にうまく伝えられていないことが要因と考えられますので、HP等を通じて広報活動を行っていきます。

次に「短時間正職員制度の拡充」、「人員の増加」、「宿日直の免除」、「時間外の免除」のニーズもありました。当センターではまず、キャリア支援の為に「短時間勤務制度の拡充」について早急に着手していきます。

〈参考〉Q. 女性医師支援において最も大切な制度や仕組みについてお考えをお聞かせ下さい(2つ選択)

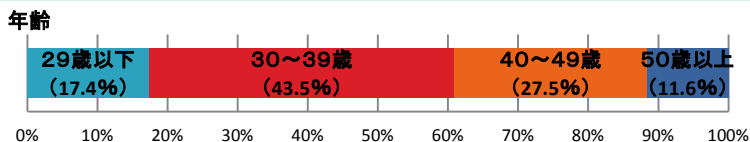


その他のご意見

- ・院内学童
- ・働き方の多様化(当直免除だけでなく、夜勤のみの出勤を可能にする等)

調査結果

(1)回答者について



(2)勤務実態について

今回のアンケート回答者73名のうち子供をもつ女性医師は35名、もたない女性医師は34名でした。

子供の有無で大きな違いを見られたのが宿直対応です。宿直を行っている子供ありの女性医師の場合は2名のみに対し、子供なしの場合は25名でした。当直の決まりについてお聞きしたところ、「現在は部署ごとに、育児・年齢・職位により免除している状態」との回答が多くあり、子供ありの女性医師に対して宿直免除の対応等、一定の配慮をとっていると思われます。一方で、子供なしの女性医師や男性医師への一定の負担があることが課題です。

(3)職場環境について

所属部署では、女性医師支援に関する取り組みはされているかお聞きしたところ、「されている」が57%、「されていない」が43%でした。ルール化されていないケースや、制度を周知できていないケースがあるのが現状です。

(4)当センターへの期待・要望

Q. 興味のある女性医師支援に関するイベント内容

- ・男性医師にも参加していただき、理解を深める
- ・幅広い年齢・職位の医師とワークライフバランスを共有できる場

Q. 当センターにどのような活動・情報提供を望むか

- ・困った際に相談しやすい体制づくり
- ・多種多様なキャリアアップモデル、ライフイベントに伴い利用できる制度利用実例の紹介
- ・子供を持つ男性医師へのサポートの考案や、子持ちの女性医師を支える男性医師への支援
- ・他の診療科の現状共有

会議報告

H30.9.5

第3回 運営推進会議

〈議題〉

- 1.報告事項
 - ・女性医師対象の実態調査結果報告
- 2.意見交換
 - ・短時間職員制度
 - ・次年度の活動計画
- 3.その他
 - ・他大学の女性医師研究者・男女共同参画・ダイバーシティ取り組み状況

皆さまから頂いた貴重なご意見は、今後の女性医師支援センターの運用に活用させて頂き、働きやすい職場づくりに貢献してまいります。
次号は診療科長対象の調査結果です。